

2022年度 第108委員会活動報告書

第108委員会事務局 JBMIA

1. 第108委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

1-1. 活動概要（全体）	委員長	池田 誠
1-2. MT1 分科会活動概要	主査	小原 章二
1-3. MT2 分科会活動概要	主査	柴田 恵
1-4. HBS 分科会活動概要	主査	近藤 孝彦
1-5. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要	主査	小原 章二
1-6. JIS C 62368-3 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-7. JIS C 60990 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-8. その他 Ad Hoc 委員会活動	主査	近藤 孝彦

1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

委員長 池田 誠

1-1. 活動概要（全体）

2022 年度の活動として、国際規格原案等については、（1）に示すとおり、16 件の文書について審議した。国内規格については、（2）に示すとおり、1 件が新規制定された。また、1 件の追補の JIS 原案を JSA に提出を行った。MT1 分科会、MT2 分科会、HBS 分科会、及び JIS 原案作成検討グループの活動の詳細は、各分科会活動概要の項を参照。

（1）国際規格対応について

2022 年度は、5～6 月、7 月に WEB で IEC/TC108HBSDT 会議が開催され、10～11 月にはサンフランシスコにて、IEC/TC108 プレナリー、HBSDT 会議、PT63315 会議及び PT63316 会議が開催され、日本代表のエキスパート、発表者及びオブザーバが参加した。

TC108 から発行される審議文書については、下記 16 件の投票等を行った。

- NP (New Work Item Proposal) : 0 件
- DC (Document for Comments) : 5 件
- CD (Committee draft for comment) : 3 件
- CDV (Committee Draft for Vote) : 1 件
- FDIS (Final Draft International Standard) : 1 件
- DTR (Draft Technical Report) : 1 件
- Q (Questionnaire) : 4 件
- AC (Administrative Circular) : 1 件

（2）国内規格対応について

1) IEC 整合 JIS 原案の審議

次表に示す JIS を JSA に提出し、その後の対応を行った。詳細は JIS の原案作成活動の項目参照。

規格番号及び標題	2023 年 3 月末時点の進捗
JIS C 62368-1 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器第 1 部 : 安全性要求事項 (IEC 62368-1, Ed.3: 2018 対応の追補)	2022 年 8 月に JIS が制定された。
JIS C 60990:2023 タッチカレント及び保護導体電流の測定方法 (IEC 60990: 2016 対応)	2022 年 7 月に JIS 原案を JSA へ提出し、2023 年 3 月に JIS が制定された。

2) 電気用品安全法技術基準に関する整合規格の審議

JIS C 62368-1 Ed3 と JIS C 62368-1 Ed3 (追補) は電気用品安全法の技術基準の解釈、別表第十二として提案することが、2022 年 11 月に開催された電気用品調査委員会において、了承された。

1-2. MT1 分科会活動概要

主査 小原 章二

IEC 60065 『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器—安全性要求』の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1 (MT1) に対応する国内委員会であるが、IEC 60065, Ed.8: 2014 が、2014 年 6 月に発行され、MT1 の担当規格改定作業は全て終了した。108/783/Q 文書が発行され、MT1 の解散が賛成多数で決定された。

(1) 国際規格対応について

IEC 60065 対象機器も対象となるルーチン試験 に関する規格、IEC 62911 の改訂に関する Q 文書(108/759/Q)に対し、MT1 分科会も文書審議に参加した。

(2) 国内規格対応について

MT1 分科会では取り扱わなかった。

1-3. MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

IEC 60950 『IT 機器の安全』パート 1 (一般要求) 及びパート 2 (個別要求) の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 2 (MT2) に対応する国内委員会である。IEC 60950-22, Ed.2: 2016 が、2016 年 1 月に発行され、MT2 の担当規格改定作業は基本的に全て終了したが、MT2 が作成した規格に関連した審議が必要となった場合、HBS 分科会と協力して、MT-2 分科会の意見を反映する活動をしている。108/783/Q 文書が発行され、MT2 の解散が賛成多数で決定された

(1) 国際規格対応について

MT2 担当の IEC/TR 62102 規格を IEC 62368-1 で使用している用語へ書き換えるための文書(108/719/DC)については、2019 年に日本コメント 1 件を提出して以降進展はなかった。IEC 60950-1 対象機器も対象となるルーチン試験に関する規格、IEC 62911 の改訂に関する Q 文書(108/759/Q)に対し、MT2 分科会も文書審議に参加した。

(2) 国内規格対応について

MT2 分科会では、取り扱わなかった。

1-4. HBS 分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

IEC 62368 『オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全』パート 1 及びそのシリーズ規格等の作成並びに改正プロジェクト等を扱う IEC/TC108/HBSDT (ハザードベース規格作成チーム) に対応する国内委員会として、次の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

HBS 分科会は、IEC 62368 シリーズ規格の改正等に向け TC108 が発行したドラフト文書 (投票が必要な案件を含む) の審議、及び委員から提案があった事項等に対する検討を行うため、2022 年 4 月 7 月 8 月に各 1 回、及び 2023 年 3 月に 2 回、それぞれ WEB で会議を開催した。

2022 年度の TC108/HBSDT 国際会議は、5 月～7 月の間に 2 回にわたって WEB で開催され、11 月にはサンフランシスコ (米国) にて 3 年ぶりの対面会議が行われた。これらのすべての会議にエキスパート及びオブザーバが参加して、日本意見を反映させた。

IEC 62368-3 の後続となる 2 つの規格のうち、一方の規格を作成する PT 63315 へは 2 名のエキスパートが複数回の WEB 会議に参加するとともに、サンフランシスコでの対面会議には 3 名が参加し、日本意見を反映させた。他方の規格を作成する PT63316 に日本からのエキスパートは参加していないが、CD に対する日本コメントを反映させるため、サンフランシスコでの対面会議に 3 名が参加した。

TC108 が発行した文書に対する日本意見の概要は、下表の通りである。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/767/CDV	IEC 62368-1 Ed.4: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 1: Safety requirements IEC 62368-1 第 4 版：オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器- 第1部：安全性要求事項 第 4 版の投票用委員会ドラフト	技術的なコメント 2 件、編集上のコメント 1 件を付け、賛成投票とした。
108/768/DC	TC 108/WG HBSDT proposed additions to the CDV of IEC 62368-1, Ed. 4 (108/767/CDV). 108/767/CDV に反映できなかった事項で、FDIS に取り入れるべき事項.	一般的コメント 1 件、技術的なコメント 1 件を提出した。
108/770/DC	IEC 62368-2 Ed.4: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 2: Explanatory information related to IEC 62368-1:2018 IEC 62368-2 第 4 版：IEC 62368-1 第 4 版の要求事項の根拠等を示した説明情報で、各国にコメントを求めするための文書	技術的なコメント 2 件を提出した。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/772/CD	<p>IEC 63315 Ed1: Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment – Safety – DC power transfer between ICT equipment ports using ICT cabling at ≤ 60 Vd.c.</p> <p>IEC 63315 第1版：ICTケーブルを用いて、ICT通信ポート（USBを含む）間で直流電力（60V以下）を伝送するための機器に対する安全性要求事項の委員会ドラフト</p>	技術的なコメント3件、編集上のコメント2件を提出した。
108/773/CD	<p>IEC 63316 Ed1: Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment – Safety – Power transfer between Communications equipment ports using Communications cabling at ≥ 60 Vd.c. and AC</p> <p>IEC 63316 第1版：電気通信ケーブルを用いて、電気通信機器のポート間で直流電力（60V超）又は交流電力を伝送するための機器に対する安全性要求事項の委員会ドラフト</p>	技術的なコメント5件、編集上のコメント1件を提出した。
※ 108/774/Q	<p>Extension of the term of office for Vice Chair of TC 108, Mr. Jos Remy</p> <p>Remy氏の副議長の任期を延長することに対する問合せ文書</p>	任期の延長に異論がない旨の回答をした。
※ 108/778/Q	<p>Request for a Category A liaison from Open Compute Project Foundation (OCP)</p> <p>Open Compute Project Foundation (OCP) を Category A のリエゾンとして良いかを問い合わせる文書</p>	リエゾンとすることに異論がない旨の回答をした。
※ 108/782/DC	<p>IEC/TC 108 Liaison List Draft Review</p> <p>TC108と他のTC等との間のリエゾンの見直しに関する文書</p>	佐藤氏がTC108の活動から離れられた旨を知らせた。
※ 108/783/Q	<p>Subject: Withdrawal of IEC 60065, IEC 60950-1, IEC 60950-21, IEC 60950-22, and IEC 60950-23 and disbandment of IEC/TC 108/MT 1 and IEC/TC 108/MT 2.</p> <p>IEC60065及びIEC60950シリーズ規格の廃止、及びそれらのメンテナンスチーム（MT1、MT2）の解散を問う文書</p>	IEC60065及びIEC60950シリーズ規格の廃止については反対した。メンテナンスチームの解散には賛成した。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
※ 108/784/Q	Nomination of a Project Leader for IEC TC 108 PT 63315, Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment – Safety – DC power transfer between ICT equipment ports using ICT cabling at ≤ 60 Vd.c PT63315のプロジェクトリーダーの交代に関して問う文書	プロジェクトリーダーの交代に異論がない旨の回答をした。
※ 108/785/DC	Proposal for Strategic Business Plan for TC 108. TC108の戦略ビジネスプランの提案文書	提案文書に異論がない旨の回答をした。
108/794/DTR	IEC 62368-1 Ed.4: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 2: Explanatory information related to IEC 62368-1:2018 IEC 62368-2 第4版：IEC 62368-1第4版の要求事項の根拠等を示した説明情報の最終投票用の文書	編集上のコメント2件を付け、賛成投票とした。
108/800/FDIS	IEC 62368-1 Ed.4: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 1: Safety requirements IEC 62368-1第4版：オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器- 第1部：安全性要求事項 第4版の投票用委員会最終ドラフト	編集上のコメント2件を付け、賛成投票とした。
108/801/CD	IEC 63315 Ed1: IEC 63315 ED1: Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment – Safety – DC power transfer between ICT equipment ports using ICT cabling at ≤ 60 Vd.c. IEC 63315 第1版：ICTケーブルを用いて、ICT通信ポート（USBを含む）間で直流電力（60V以下）を送るための機器に対する要求事項の2回目となる委員会ドラフト	技術的なコメントを24件、編集上のコメント6件を提出した。
108/802/DC	Document for comments on the IEC Guide on Collaborative safety in ACOS ACOSで審議している協調安全に関する文書に対して、コメントを求める文書	編集上のコメント2件を提出した。
※ 幹事会にて回答案を作成		

(2) 国内規格対応について

HBS 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

TC108の主となる規格である IEC 62368-1 の第4版の FDIS は可決され、IS として発行される予定である。しかしながら、第4版に採用されず懸案となっている事項等が引き続き審

議されていること、及び IEC62368-3 を新たな規格に置き換えるための PT63315/PT63316 での審議が引き続き進められていることから、それらに対応すべく、HBS 分科会において日本意見をまとめ、国際会議にて提案する。また、他国からの意見に対しても意見具申を行なう。

IEC 62368 シリーズ規格をはじめとする IEC/TC108 が所管する規格の作成/改正及び解釈などの問題に関しては、関連団体等とも連携を図り進める。

(4) 2023 年度国際会議予定

- ・ 2023 年 4 月 HBSDT WEB 会議
- ・ 2023 年 10 月 HBSDT 会議 カイロ (エジプト)

1-5. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要

主査 小原 章二

(1) 概要

IEC 62368-1 3 版対応の JIS C 62368-1:2021 が 2021 年 5 月に発行された。しかし 2021 年 4 月に IEC 62368-3 を引用規格とする解釈が変更となり、この部分を修正するための追補版が 2022 年 8 月に発行された。2022 年 11 月の電気用品調査委員会において、JIS C 62368-1:2021 と追補版を合わせて電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望する説明を行った。

(2) 今後の主要課題

JIS C 62368-1:2021 及び追補版が電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用されることを確認する。

1-6. JIS C 62368-3 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

IEC 62368-3 Ed.1.0: 2017 対応の JIS C 62368-3 「オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器－第 3 部：通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項」が、2021 年 5 月 20 日に制定された以降、2022 年度は特に活動なし。

(2) 今後の主要課題

JIS C 62368-3 は、対応国際規格である IEC 62368-3 の後続となる IEC 63315 又は IEC 63316 の対応 JIS 化などの検討とあわせて、廃止の申出を行う予定。

1-7. JIS C 60990 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

IEC 60990 Ed.3.0:2016「タッチカレント及び保護導体電流の測定法」対応の JIS 原案作成のため、2022 年 1 月には、JIS 原案作成委員会を発足させた。

2022 年 2 月度からは JIS 原案作成委員会傘下の分科会にて 10 回、計 28 回の審議を行った。計画通り、7 月 28 日付けで JIS 原案を JSA へ提出し、2023 年 3 月 20 日付けで発行された。

(2) 今後の主要課題

特に無し。

1-8. タスクフォース及びアドホック活動

主査 近藤 孝彦

附属書 M-TF は、電池に関連する事項について審議する TF である。2022 年 8 月、及び 2023 年 3 月に WEB 会議を開催し、国際会議で採用された事項が規格に正しく反映されていることの確認、及び新たな改正提案等の意見をまとめた。

光放射-TF は、光放射に関連する部分について審議する TF である。2022 年度は光放射に関する IEC 規格等の作成/改正の動向を注視した。2023 年度は、作成/改正された光放射に関する規格が、TC108 所管の規格に対し、どのように影響するかを審議する予定である。

以上